

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	職業評価部門施設経費	事業開始年度	昭和54年度	作成責任者		
担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	担当課室	高齢者雇用対策課	高齢者雇用対策課長		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	障害者の雇用の促進に関する法律第19条第1項及び第2項、附則第2条第1項及び第2項、同法施行規則附則第1条の2及び第1条の2の2、雇用保険法第62条第1項第5号、第3項	関係する計画、通知等	障害者雇用対策基本方針(平成21年3月5日付け厚生労働省告示第55号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の職業生活における自立を促進するための施設の設置及び運営その他障害者の雇用を支援するための業務等を行うことにより、障害者の職業の安定その他福祉の増進を図るとともに、経済及び社会の発展に寄与することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①吉備高原障害者職業リハビリテーションセンターの職業評価部門の土地借料 国が設置し、運営は独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が行っているところであり、引き続き設置及び運営を行う必要があることから、当該施設の設置及び運営に必要な土地の借受けを行うもの(21年度) ②国立職業リハビリテーションセンター庁舎等における改修工事等のための経費 吹き付けアスベスト(石綿)等の使用実態について調査したところ、アスベストの混入が認められたことから撤去工事を行うもの(21年度)					
実施状況	平成21年度実績 ・吉備高原障害者職業リハビリテーションセンターの職業評価部門の土地借料(3,228千円) ・国立職業リハビリテーションセンター庁舎等における改修工事(11,560千円)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	7	6	15	10	11
	執行額	7	6	15		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	7	6	15		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	①吉備高原障害者職業リハビリテーションセンターの職業評価部門の土地借料は、岡山県との契約による。 ②国立職業リハビリテーションセンター庁舎等における改修工事は、国土交通省に支出委任している。				
	見直しの余地	①吉備高原障害者職業リハビリテーションセンターの職業評価部門の土地借料は、21年度から岡山県との契約となり、県条例に基づき貸付料を算定すると、これまでの貸付料から大幅増額(871千円→32,279千円)となるが、岡山県と協議の上、90%の減額(3,229千円)とすることができた。今後は、毎年度、前年度の「土地時価」に土地の時点修正率を乗じた価格を時価として計算し、契約を行う。 ②国立職業リハビリテーションセンター庁舎のアスベスト撤去工事については、限られた予算の中で複数年計画を見込んでいるが、アスベストの量に応じて年間予算の範囲内で執行可能な除去工事を進めることとし、計画の前倒しができるよう国土交通省と調整したい。				
予算監視の・効率化	概ね妥当であるが、引き続き予算の執行状況等に留意し、今後見直すべきところは予算に反映すべき。					
補記						

厚生労働省
15百万円

※金額は平成21年度



A 岡山県(土地所有者)
3百万円

B 国土交通省
(支出委任)
12百万円

(国立吉備高原職業リハビリテーションセンターに係る土地借料)

(国立職業リハビリテーションセンター庁舎等における改修工事)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.岡山県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
土地建物借料	国立吉備高原職業リハビリテーションセンターに係る土地借料	3			
計		3	計		0
B.国土交通省			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	国立職業リハビリテーションセンター庁舎等における改修工事	12			
計		12	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0